

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み（条件づくり）	校区社協としての取組
住民同士が つながり深め、 皆でつくるまちづくり	笑顔と健康と安心して暮らせるまち	高齢者	高齢者の把握と支援体制構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住環境変化（特に集合住宅）の世帯把握困難、情報共有が難しい</li> <li>・近所付き合いの希薄化</li> <li>・身近に迫る認知症高齢者のサポート</li> <li>・コロナ禍、集い、交流が減り孤立化が心配</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者支援ネットワークの確立、連携支援</li> <li>・隣近所付き合いによる見守り活動推進</li> <li>・生活、身近な生活相談の場開設検討</li> <li>・緊急時のつなぎ役、命のバトンの拡充</li> <li>・継続 実践的認知症サポート養成講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン等集い（通い）の場への参加促進の為その主旨、効果の啓発を強化する</li> <li>・コミセンでお悩み相談開設検討したい</li> <li>・自治協と連携し情報共有と諸課題協議</li> <li>・行政、ささえりあ本荘と連携し認知症サポート、健康及び交通安全等の教室を継続する</li> </ul>
			高齢者の社会参加と体力維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍による巣ごもりが長期化し精神面、体力低下が心配、フレール問題</li> <li>・サロン等通いの場やイベントへの参加意識意欲づけ及び誘導手段の配慮が必要になる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン、百歳体操等の通いの場の拡充参加動員、啓発活動及び役割担う体制づくり</li> <li>・健康教室等健康維持、役立つ講話</li> <li>・地域支え合いの構築（町内単位）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・命のバトン配付強化と実態把握</li> <li>・地域助け合い実施に関する協力、支援</li> <li>・日頃からの声かけ、見守り心かけを促進</li> </ul>
		障がい児・者	障がい児・者に対する理解と関わり不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者に対する接し方が分からない</li> <li>・施設視察訪問研修は経験ありますが</li> <li>・日頃から接する機会、相談受ける事も無く、教育の機会も少ない、実態把握困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態把握において行政（機関）との情報共有</li> <li>・障がい者サポート養成講座の開設知識習得理解を深める機会づくり</li> <li>・ヘルプカードと命のバトンは有効、啓発推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政、障がい者相談支援センターちゅうおうと連携し、理解を深める研修、交流会を検討する</li> <li>・障がい者サポーター養成講座を開く</li> <li>・ヘルプカード、命のバトン啓発、推進</li> </ul>
	皆で育てよう春竹の宝	子ども・子育て	子どもの人権いじめ・不登校・虐待	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍、園、学校等との交流・情報共有及び情報収集の機会がない</li> <li>・個人情報の問題、早期発見と対応の難しさ（世帯の居住情報把握困難）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域アンテナの仕組み作りにて地域情報提供を求め関係機関と連携し対応</li> <li>・子育てネットワークの活用（情報共有）</li> <li>・育児が楽しい生活環境を充実させる</li> <li>・異世代交流の機会を作り、仲間づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てネットワークの活用関係機関との連携、情報共有、収集</li> <li>・地域にアンテナをはり早期発見</li> <li>・母と子育てサークルを通し子育てお悩み相談を継続、情報収集の機会を得る</li> </ul>
			子ども・子育て家庭の見守りー楽しく笑顔で過ごすー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍、学校、園等の機関との意見交換、情報共有機会がない</li> <li>・PTA、子供会もコロナ禍により交流、情報共有化が図れていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で見守り</li> <li>・園、学校、PTA、保護者との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園、学校、関係機関との連携強化</li> <li>・自治協と連携し、異世代交流の機会を検討</li> <li>・児童の安心、安全見守りを継続推進</li> </ul>
	皆で助け合うまち	災害・防災	災害に備えた平時の見守りと避難行動計画作成支援体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で要援護者、個別支援計画の調整、日頃の見守りに影響</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本地震での経験、反省を基に町内単位で備えと心構え避難先を話し合う</li> <li>・日頃から、関係機関、団体との連携平常時から協議しておく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協、防災連絡会と連携し引続き訓練、研修を開催し、住民の防災、減災意識高揚に繋げる</li> <li>・町内単位のサポート体制支援強化自主防災クラブの設立、防災訓練 取組み</li> </ul>
			防災、理解と意識高揚に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自助、避難すべきか迷う高齢者</li> <li>・どこまで手助け必要か戸惑う</li> <li>・防災訓練で、防災減災への意識高揚の機会を掴むが、周知不足か参加者は少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時要援護者支援制度の啓発推進</li> <li>・防災訓練、防災情報の周知、避難所の確認有事の際の連絡網を確認する</li> <li>・マイタイムライン、ハザードマップを説く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時要援護者支援制度周知と啓発</li> <li>・社協が窓口になり支援（命のバトンも同様）</li> <li>・一人も見逃さない体制作り</li> </ul>
	校区の力で支え合い	その他	地域・各種団体の担い手	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員の高齢化、後継者育成したくも次の担い手が探し大変</li> <li>・生活に追われているのか、若い世代の行事への参加も少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代との交流の場を設け発揮出来る企画立案する</li> <li>・地域支え合いの担い手・福祉及び災害ボランティアの募集と協力体制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA、子ども会と将来に向けて継続的に繋がりを作り、地域貢献、協力を得る為に若い世代が参加しやすい事業を計画</li> <li>・各種団体との連携し、人材発掘情報得る</li> </ul>
			健康課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康自己診断への取組低い</li> <li>・健康に対する認識が低い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かかりつけ病院を作ることの重要性を説く</li> <li>・関係機関との連携し啓発活動を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集い（通い）の場を通し・健康に関する教室を設け、健康意識向上と相談の機会を作る</li> <li>・関係機関との連携、情報提供を推進する</li> </ul>